

山行報告書

報告書作成

2013年10月13日

山名 [山域]	高妻山(2,352.8m)[頸城山系]	目的と方法	紅葉と百名山
登山期間	2013年10月13日	山行形態	前夜発日帰り
参加人数	3人		

【行動記録】 ==:車 --:歩き ++:公共交通機関 TS:テントサイトor宿泊施設 (到着時刻、出発時刻)

豊田南IC(18:15)==1:35==駒ヶ岳SA(19:50,20:35)==1:55==信濃町IC(22:30)==0:30==戸隠キャンプ場P(23:00)TS1

戸隠キャンプ場P(5:00,6:00)TS1--0:15--戸隠牧場登山口(6:15)--6:45--六弥勒(13:00,13:05)--21:25--九勢至(10:30,10:35)--0:25--高妻山山頂(11:00,12:25)--0:35--六弥勒(13:00,13:05)--23:55--不動避難小屋(13:00,13:10)--1:55--戸隠牧場(15:05)--0:20--戸隠キャンプ場P(15:25,15:45)==0:30==神告げ温泉(16:15,16:55)==0:15==大久保の茶屋(17:10,17:50)==0:40==長野IC(18:30)==4:20==豊田南IC(22:50)解散



【日誌】三連休中日の天気予報は晴れだが、風が強いとのことだった。戸隠キャンプ場に至る公道が濡れていたのが前日は雨だったよう。駐車場に着くと既に20台程度の車があり、就寝中とみえるテントもいく張りがあった。やっと百名山なのだと実感する。適当なところを見つけテントを張り眠りにつく。風の音が怖いくらいだったが、気付くと朝だった。

駐車場は50台程度止められそうだったが、ほぼ満車状態。まわりが動き出すのに合わせて出発。キャンプ場から牧場を縦断し登山口まで歩く。今回登りは10月にできたばかり(?)の新しいコース。急な登りで階段などはない。しかし踏み跡があるので迷うことはない。しばらく樹林帯の中を登ると尾根に出た。紅葉のピークは過ぎてしまっているようだが、なかなかの展望。北アルプスからハヶ岳、その左側になんと富士山が見えた！これにはびっくり。尾根を歩くと分岐に出た。“六弥勒”の文字。この山は登ったり下ったりを繰り返すタフな山。(累積標高は1400~1500mになるとのこと)ピーク毎に十三仏が祭られている。新道は5個の仏様を飛ばしたところに出るが、牧場で見かけたパーティにあったから時間はほとんど変わらないようだ。ここからは上り下りをくり返す。カッコいい北アルプスが見える。ん？雪がついてる。前日初冠雪だったのか？なんて話しながら登る。高妻山ピークは十阿弥陀。その先は乙妻山に続く。山頂には人がいっぱい。南はアルプス、北は頸城山系が綺麗。

さて下山。旧道の仏様を確認しながら登ったり下ったりなかなか標高が下がらない。。やっと一番の不動小屋に着き、その後は沢沿いを下る。鎖場が2か所。怖いような道ではない。風もさほど強くなかったし、爽やかな気分で牧場に戻って登山終了！牧場で牛を追いかけたが逃げられた。キャンプ場には綺麗なお土産屋さん。蕎麦ソフトをいただく♪温泉は“神告げの湯”へ。このあたりはここしか日帰り湯がないのかとても混み合っている。夕飯はCLおすすめの戸隠蕎麦“大久保の茶屋”6時閉店。温泉でのんびりしてたら閉まっていた。ラッキー☆そば粉を買って帰途へつく。

【情報】登山ポストは牧場管理事務所横。トイレは駐車場、牧場にあり(登山口から先にはない)。神告げの湯¥600

【感想】事前にヤマレコなどをみると「二度と登りたくない」「意外とタフな」と枕詞がついている高妻山。そんなことはない。とってもいい景色に会えるからまた登りたい。まわりの山が良く見えるから紅葉の時期がいい。でもその前に…帰り道の途中で見せてもらった戸隠山の切り立った岩肌がカッコよくて、こっちが先だ！って思った。それに戸隠神社の荘厳な雰囲気もまたいい！また楽しみが増えた。

参加者名

改定:2004.08.24